

2. 「避難行動要支援者に配慮した避難訓練」

～西陵東町内会自主防災会～

■ 実施団体

○西陵東町内会自主防災会（西陵2丁目）

設立年度：H3年6月

世帯数：1,107世帯

■ 活動内容（H27年6月実施）

- ① 避難訓練
- ② 119番通報訓練
- ③ 消火訓練
- ④ 救急救命訓練



■ 地域の特徴

鹿児島市の西部、新川の中流域の丘陵地上に位置している。一部、土砂災害警戒区域に指定されている。



★ 会長インタビュー ★

Q1

今回の訓練では、どのような災害を想定されたのですか。

会長

大きな地震が起こり、町内のあちこちで火災が発生したことを想定し、避難訓練などを行いました。

Q2

避難訓練は、どのような手順で行ったのですか。

会長

西陵東町内会自主防災会では、日頃から、高齢者など避難の手助けが必要な住民をリストアップしています。

会長判断で、避難の実施を決めたときは、各区の副区長や班長が、リストを見ながら避難の呼びかけや誘導を行い、あらかじめ設定している近くの一時避難場所（公園など）に避難します。

その後、区単位で人数やけが人の状況などの把握を行い、安全を確認しながら指定避難所である西陵小学校に移動するという流れです。

その間、区長を通じて、会長に各区の被害状況などを伝える情報伝達も実施しました。

Q3

今回の活動を振り返っていかがだったでしょうか。

会長

消火訓練と救急救命訓練は田上分遣隊に、炊き出し訓練は日本赤十字鹿児島支部の協力をもらって実施しましたが、実際に消火器を扱ったり、炊き出し訓練で作ったおにぎりをみんなに振る舞ったりすることで、住民の皆さんは興味を持ちながら訓練に参加できたと思います。

私としては、分遣隊が紹介してくれた「上着を利用して担架を作る方法」や「三角巾やハンカチで止血する方法」など、身近にあるものを使って救急活動できるのだということが分かり、興味深く思いました。



三角巾で腕を固定する方法を教えてくださいました！

Q4

次回の活動では、どのようなことをされたいですか。

会長

次回は、出前トークなどを利用して防災に関する研修会を開きたいと考えています。

また、町内には、消防のOBや防災推進員など防災に詳しい住民もいるので、地域一丸となって今後も防災活動にあたりたいと思います。